



オオバン

Fulica atra

No.71

2013年3・4月

我孫子市鳥の博物館友の会

<http://acmb.sakura.ne.jp/hp/>

鳥にまつわるエトセトラ ～リレー・エッセイ 第6回～

野鳥との出逢い～感動を有難う～

野口隆也

今から11年前、会社の大きな改革の真っ只中で、会社を去る仲間と毎月のように夕食をともにしたことがありました。その大変辛い時期、庭にやって来た小さなメジロに慰められたのが、野鳥との初めての出逢いでした。今ではその種類も徐々に増え、庭に来る野鳥は20種を超えています。

その後、手賀沼トラストで稲刈りを終えて休息していた時、目の前の田圃に現れたキジの雄の姿に暫し疲れを



忘れて見入ったことがありました。酔っばらって夜8時頃、水を張った田圃でカルガモが数羽泳いでいるのをふと見つけ、何故か一人で納得したこともあります。こうしたことが重なって、野鳥の会に入ってみる気になりました。

さて野鳥の会の何回目かの探鳥会で、フィッシングセンター付近の田圃に出掛けた時のことです。車でトラクターの後を追えば野鳥に逢えるだろうと近づいた瞬間、男3人が見たものはタゲリでした。車の中から何十分もの間、大の大人が感嘆の声を上げ放して。正直、涙かよだれも出たように記憶しています。

その後野鳥観察の経験も増え、この美しさの瞬間を

記念に残したいという気持ちが沸々と湧いてきて写真を撮るようになりました。

2009年、石川県の舩倉島を訪問しました。こんな素晴らしい場所があったのかと思われる程、たくさんの野鳥を間近で捉



えることができました。特に私にとってマミジロの雌雄に逢えたのは幸せでした。マミジロの雌は初めてでしたが、たくさんのショットを撮ることができました。(名前は帰ってから鳥博の方に教えて頂きました。)雄が現れた瞬間は周囲の空気の流りが止まったかを感じるほど唐突でした。黒い体にマユだけが白いその出で立ち、なんと恰好良いものでした。この旅行で残念だったのはピンボケのシマアオジのバージョンアップができなかったことです。

2010年、鹿児島県の川内に出掛けカラフトワシを狙っていた時、田圃の中で見た雄のハイロチュウヒは生涯忘れられない思い出になりました。地元の野鳥の会会長の「出ましたよ！」の声で撮った写真は、灰色に翼の先だけ黒い重厚感のある雄のハイチュウでした。それは地面すれすれに獲物を探して飛んできました。カメラの中で思わず自分がネズミになったような不思議な感覚に襲われました。私の大好きな野鳥の一つです。

もくじ

| | | | |
|--------------------------|------|---------------------------------|-------|
| リレーエッセイ 野鳥との出逢い ～感動を有難う～ | 1頁 | 行事報告 | 7-10頁 |
| 舞岡公園撮影会 | 2頁 | ホワイトボード 手賀沼を歩いてみよう / オオバンができるまで | 11頁 |
| みて歩こう会一言コメント集 第148回舞岡公園 | 3頁 | ひよちゃんのキロク その1 | 12頁 |
| 行事予定 | 4-6頁 | シリーズ・この一冊 とりばん第1巻 | 13頁 |
| 3・4月のカレンダー | 4頁 | シリーズ・会いに行こう 公園の鳥 谷津干潟公園 | 13頁 |
| 鳥の博物館イベント情報 2013年3月・4月 | 7頁 | 事務局からのお知らせ | 14頁 |

遠出のもう一つの思い出は北海道です。中でもシマフクロウとの出逢いは初めて三脚・リモコンを使った撮影



でした。幸い3度のチャンスに恵まれ、正面の顔と横向きの顔があまりにも違うことに驚かされました。正面から見ると厳かで何か哲学者を思わせる雰囲気ですが、獲物に向かって見せる横顔は猛禽類そのもので、怖さと迫力を兼ね備えた表情に変化します。本当にこれが同じ個体かと思う程でした。

海外の経験は旅行や仕事を中心に野鳥との出逢いは少ないのですが、思い出に残るのはニュージーランドで見たオーストラリアシロカツオドリです。当時在住の娘夫婦の計らいで、断崖絶壁のコロニーに案内してもらいました。強風の海風の中でもたくさんのシロカツオドリが舞っておりました。空を飛べない自分には羨ましい限りでした。



持っていたのはコンパクトデジカメでしたが、夢中になってシャ

ッターを切りました。後になって、この鳥の名前の由来を知りました。カツオなどの大型魚類に追われた小魚等をとらえ、結果的にカツオなどの魚群を知らせることになったことから、カツオドリというそうです。

もう一つが中欧の旅行で出逢った鳥です。オーストラリアのルストという街で出逢ったのは、シュバシコウ(赤い嘴のコウノトリ)です。1,800人ほどの小さな町ですが街ぐるみでこの鳥を大切にしています。人と鳥との共存の典型例です。暖房を使わない夏は煙突のてっぺんをシュバシコウに譲り、彼らが安心して子育てできるようにするのです。歩いていると頭上をシュバシコウがゆっくりと飛び交う姿を見かけます。(因みにワインも有名です)

ドイツのドリスデンの美術館で出逢ったクロウタドリにも感動しました。美術館を歩いていると鳥の大きな唄

声が聞こえてきます。雨の降りしき中、あわてて中庭に出てみると、クロウタドリが囀っているではありませんか。思わず女房に傘を持ってもらい、雨中での撮影会となりました。

この年末・年始は風邪などで体調を崩し家にいることが多かったのですが、毎朝の新聞



を庭に面した部屋で読むという新しい楽しみが増えました。勿論そばに双眼鏡をスタンバイして…。この冬はいつものメンバーの中でもシロハラ・ジョウビタキ・ヒヨドリ・モズ・メジロなどが毎日のようにお気に入りの梅の枝にとまってくれます。新聞の各頁を読み終えるごとに目を上げると小鳥が次々と現れ、それぞれの仕草に思わず声をあげています。シロハラは近くのヒサカキの実を貪欲に啄み、ジョウビタキは時折、梅の花芽を突つき、ヒヨドリは近くの山茶花の花びらを器用に飲み込んでいます。野鳥も365日、我々の知らないところでいろいろな活動をしているのでしょう。そう考えると、今年はまだ一度リセットして野鳥との出逢いを始めたいと思っています。

次号は野口隆也さんから、畠中暁美さんへ
バトンタッチです

舞岡公園撮影会

丸嶋紀夫

舞岡公園は野鳥の観察地として有名であるが、私はまだ一度も行ったことがなかったので、ぜひという思いで参加した。1月26日は朝から冬晴れで、東京駅の東海道線のホームで待ち合わせした。今回はみて歩こう会と合同ということで、総勢30余名の大所帯であった。東海道線戸塚駅で下車し、そこからバスで京急ニュータウンの終点まで移動した。バスはほぼ貸し切り状態であった。

舞岡公園南門前の広場で撮影の準備をして、園内に入場した。雑木林と細長い田んぼの続く坂道を下って行くと、目的のヤマシギのいるというきざし池に到着した。

この池はアシが刈られた湿地で、池の中はハンノキの林だった。しばらくすると池の向こう岸近くにヤマシ

ギが2羽現れた。ヤマシギは木々の間をゆっくり歩行していた。遠かったが、夢中でシャッターを切る。その後道を挟んだ反対側の湿地にタシギが2羽現れたというので、皆そちら側に移動して撮影する。タシギは餌取りに夢中で近くを歩いていて、ゆっくり観察できた。ときどきジョウビタキが自分も撮ってくれと言っているように、その周辺に現れた。一段落して最初に撮影したヤマシギの方の池に目を向けると、ヤマシギは後ろの谷戸の方に消えていった。こんなことならもっとじ

っくりヤマシギを撮っておけばよかった。

ふと気がつく
と同好会の
方々は見えな



くなり、園内の奥へ移動していったようだ。いつの間にか独りになった私も奥へ入って行ったが、園内の地理がよくわからず、ただ闇雲に歩くだけだった。途中、みて歩こう会の人たちと会い、タイワンリスが鳴きながら木々の間を動いているのを教えてもらった。さらに進んで、ロウバイの花が咲きにおうくappa池まで行ったが、暗がりにはアオジがいるだけで、結局何も撮れずにもとの場所に引き返した。

戻ると、先ほどのタシギはさらにサーピスがよくなり、私のカメラで



は撮ることができないくらい近くに寄ってきた。ここで昼食をとり、道端のアオジが踏み潰しそうになるほど近くにいるのを撮影した。

後で聞いたのだが、ロウバイにウソのシーンや、アカゲラが撮り放題だったという幸運な人もいたが、私は最初のヤマシギだけであった。

午後になって北風がだんだん強くなって、鳥の出現がなくなったので13時30分に引き上げとなった。帰り道にタイワンリスが見送りに現れた。また、南門を出て、撮影機材をしまった後、ウソが数羽桜の木に現れたが、後の祭りであった。

この日は私にとっては何となく欲求不満の撮影であ

ったので、舞岡公園はまたリベンジしなければと思った。



みて歩こう一言コメント集 第148回舞岡公園

武藤藍子 舞岡公園は一度行ってみたいと思っていました。里山を歩き探鳥ができてとても楽しい場所でした。今回の成果はヤマシギを見た事です。

青木典子 沢山の種類の鳥を見る事が出来とても楽しい歩こう会でした。

脇谷房子 最高気温が6度という日でしたが、日当たりのよい道は気持ちよく歩きました。カワセミが枝に止まり前を向いているのをしっかり見ました。タシギは盛んに餌をついばみ、周りに人がいても夢中でした。

桑嶋光子 公園に入ってすぐにジョウビタキやカワセミに出会えラッキーでした。初めてヤマシギを見る事が出来良かったです。富士山のビュースポットを探して歩きましたが、残念ながら全容をみることは出来ませんでした。

野口洋子 厳冬予報の出る中、着グルミ状態の装備で参加しました。現地に着くと思ったより寒くなくシメ、タシギ、アオジ、カワセミ、ヤマシギ等々沢山の鳥が見られ満足の一日となりました。

植田啓介 はじめて見るヤマシギをはじめ沢山の鳥を間近に見ることができ、また富士の眺望を求め丘陵のあるきまわったり(富士の山頂部は雲に隠れていたのは残念でしたが)、探鳥とみて歩きを兼ね備えた楽しい小旅でした。



ひと言コメントについてのおことわり (みて歩こう会実行委員会)
多くの方から寄せられたコメントは今後の参考にさせていただきます。誌面の関係上すべてを載せることが難しいため、この点につきましてはご了承ください。

行 事 予 定

【友の会見学会】

* 当見学会は、すでにバス定員に達しているため、受付を締め切っております！

つくばの研究施設めぐり

筑波実験植物園・地図と測量の科学館・筑波宇宙センター

期 日 3月31日(日)

集 合 我孫子駅北口ふれあい広場前 8:00

解 散 我孫子駅北口 17:30頃

コース 我孫子＝柏インター＝桜土浦インター＝筑波実験植物園＝地図と測量の科学館(昼食)＝筑波宇宙センター＝桜土浦インター＝柏インター＝我孫子

交 通 大型貸切バス

参加費 2,000円

持ち物 飲み物、雨具、弁当(科学館前にコンビニ、徒歩5分ほどのところに飲食店4軒あり)

連絡先 金子雅幸

Tel&Fax 04-7133-6944

Mail yamasemi@pb3.so-net.ne.jp

担 当 金子雅幸、松田幸保

【平成25年度総会】

日 時 4月21日(日)13:30～14:30

場 所 鳥の博物館2F多目的ホール

- 議 題
- 1.平成24年度事業報告、同決算報告
 - 2.平成25年度事業計画、同予算計画
 - 3.役員改選
 - 4.その他

総会后、友の会講座 - 天売島の今昔 - があります。皆さんこそってご参加下さい。

【第36回友の会講座】

天売島の今昔 -

日 時 4月21日(日)14:45～15:45

場 所 鳥の博物館2F多目的ホール

解 説 友の会会員 浅野利幸、松田幸保

内 容 北海道の西に浮かぶ天売島は、今は少なくなりましたがオロロン鳥(ウミガラス)で知られた島です。かつて多く見られた頃と現在の島の状況を新旧カメラマンの映像で見いただきます。

【友の会探鳥会 印西市発作地区の水田】

期 日 5月6日(月・振休)

集 合 我孫子駅北口ロータリー 8:00
車に分乗して移動します。

解 散 正午ごろ

内 容 印西市発作地区の水田で春の渡りのシギ・チドリを中心に探鳥します。

持ち物 観察用具、雨具

担 当 松田幸保、木村稔、

申込み 松田幸保

車を提供できる方はその旨も

Tel 04-7182-8307

Mail shobin@par.odn.ne.jp

3・4月のカレンダー

| 3月 | 頁 | 4月 | 頁 |
|---------------------------|---|------------------------|---|
| 09日(土)てがたん、テーマトーク、デジカメ室内会 | 7 | 05日(金)デジカメ秋ヶ瀬公園撮影会 | 5 |
| 15日(金)みて歩こう会・北新田探鳥会 | 6 | 09日(火)みて歩こう会さくら草・秋ヶ瀬公園 | 6 |
| 16日(土)鳥絵、鳥凧 | 5 | 13日(土)てがたん、テーマトーク、役員会 | 7 |
| 20日(水・祝)万葉集同好会 | 6 | 15日(月)みて歩こう会・北新田探鳥会 | 6 |
| 23日(土)デジカメ三番瀬・谷津干潟撮影会 | 5 | 17日(水)万葉集同好会 | 6 |
| 24日(日)鳥絵 | 5 | 20日(土)鳥絵、鳥凧 | 5 |
| 26日(火)みて歩こう会・田端文士村&上野動物園 | 6 | 21日(日)総会・友の会講座 | 4 |
| 5月06日(月・振休) | | 27日(土)デジカメ室内会 | 5 |
| 友の会探鳥会・印西市発作地区の水田 | 4 | 28日(日)鳥絵 | 5 |



鳥絵同好会

期 日 第 251 回 3 月 16 日(土)
 第 252 回 3 月 24 日(日)
 第 253 回 4 月 20 日(土)
 第 254 回 4 月 28 日(日)

時 間 9:30 ~ 12:00

会 場 友の会ルーム

標本借用の予約は、ハガキで下記へ、開催日前の水曜日までにご連絡下さい。

(3月・4月)

〒278 - 0003 千葉県野田市鶴奉41 青木義尚



鳥凧同好会

制作会合

期 日 3 月 16 日(土)
 4 月 20 日(土)

時 間 13:30 ~ 16:00

場 所 友の会ルーム

・今年度 2 番目のテーマ“トキ凧”は、各会員の制作が進みつつあり、この春には我孫子や近隣の空に揚げたいと思っています。

・2013 年度の重点活動として、新規鳥凧制作テーマの選定と制作取り組み、簡易立体鳥凧の開発と大人対象の鳥凧教室開催検討、凧材料となる経年ものの真竹入手、竹ヒゴ作り、鳥凧同好会凧揚げ会の 4 項目を取り上げ、具体的な年間計画をもとに実施していく予定です。

・同好会に登録していないが鳥凧に興味をお持ちの方は、制作会合にお立ち寄りください。見学大歓迎です。鳥凧制作の楽しさをお伝えします。



デジカメ同好会

3 月の会

三番瀬・谷津干潟撮影会

期 日 3 月 23 日(土) 雨天中止

集 合 我孫子駅改札口 8:00

交 通 我孫子 柏(東武野田線経由) - 船橋 三番瀬 二俣新町 南船橋 谷津干潟

詳しいスケジュールは後日連絡します。

内 容 シギ・チドリ・海の水鳥などを撮影します。

持 物 撮影道具、雨具、弁当(南船橋駅で購入可谷津干潟観察センターに食堂があります。)

申 込 池田まで

Mail: hideo.0105.iked@grand.nir.jp

Tel: 04-7184-3696

担 当 池田日出男、北村章子、樋口滋

室内会

日 時 3 月 9 日(土)14:00 ~ 16:30

場 所 友の会ルーム

内 容 撮影会などの作品発表ほか

4 月の会

秋ヶ瀬公園撮影会

期 日 4 月 5 日(金)雨天の場合は中止

集 合 1)我孫子駅改札口 8:00
(代々木上原行き 8:10 に乗車)

2)JR 新松戸駅
(府中本町方面行きホーム) 8:30

交 通 電車(JR 武蔵野線)利用

予定電車 新松戸 8:39 発 西浦和 9:13 着

内 容 さいたま市秋ヶ瀬公園で山野の鳥を撮る。

持 物 撮影・観察用具、雨具

弁当は集合前にご用意のこと。

申 込 会合時または Tel/ Mail で吉田隆行まで

Tel 04-7163-9443

Mail takayuki-yoshida@jcom.home.ne.jp

担 当 吉田隆行、北村章子

室内会

日 時 4 月 27 日(土)14:00 ~ 16:30

場 所 友の会ルーム

内 容 撮影会などの作品発表ほか



みて歩こう会

北新田探鳥会

日 時 3 月 15 日(金)・4 月 15 日(月) 8 時半 ~

集 合 中央学院大学正門前

初春の北新田ではどのような鳥がみられるでしょうか? 広大な水田をながめながら、利根川の越流堤までの道のりを歩きます。思いがけない鳥に出会えることも、皆様の参加をお待ちしています。

第150回田端文士村散策と上野動物園見学会

期 日 3月26日(火) 雨天中止

集 合 我孫子駅改札内 9:00

解 散 上野動物園内 15:00頃

コ ー ス 我孫子-日暮里-田端・・・田端文士記念館
(10:00) ガイダンス後文士村散策

芥川龍之介 香取秀真 竹久夢二・田河水泡

室生犀星 大龍寺(正岡子規墓所) 菊池寛 サ
トウハチロー記念館

12:00 田端駅周辺にて昼食

13:00 上野動物園(日本の鳥中心に見学)

15:00頃 動物園にて解散

| | | | |
|-----|-----|--------|-------|
| 費 用 | 交通費 | 我孫子-田端 | 540円 |
| | | 田端-上野 | 150円 |
| | | 上野-我孫子 | 540円 |
| | | 計 | 1230円 |

入園料 65歳以上 300円 一般 600円

持ち物 飲み物、雨具、筆記用具

昼食は田端駅周辺にて

内 容 上野に東京美術学校(現・芸大)が開校されると、上野と台地続きで便が良い田端に、芸術家や文士が集まり住むようになり、田端文士芸術家村ができた。

午前は記念館学芸員の案内で歩きます。午後は上野動物園で日本の鳥を中心に見学します。

担 当 岡廣志(04-7169-5364)

橋本清(04-7131-0727)

第151回 さくら草公園から秋ヶ瀬公園へ

期 日 4月9日(火) 雨天中止

集 合 我孫子駅改札口内 9:00

解 散 我孫子駅 15:00頃

コ ー ス 我孫子駅-新松戸-西浦和・・・さくら草公園
・・・秋ヶ瀬公園・・・鴨川堤桜通り公園-西浦和駅
-我孫子駅

費 用 JR往復 1,380円

持ち物 弁当、雨具、双眼鏡

申込み 別途共通案内参照

連 絡 染谷迪夫 Tel 04-7182-3972



担 当 染谷迪夫、井上正

案 内 さくら草公園でさくら草の自生地を見学、鴨川堤で桜を鑑賞。秋ヶ瀬公園で春の野鳥を観察しながら、お昼を食べてのんびり春を楽しみます。

みて歩こう会各行事の共通案内

・参加申込み 特に定めのない限り申し込み不要。

ただし、集合場所以外の途中から合流参加される方は、その旨ご連絡ください。・参加費用 一人1回100円。交通費、入館料、その他費用は各自払い。・催行連絡 荒天時で中止する場合は、実施前日の18時に決定しML(メールリスト)で連絡します。みて歩こう会MLに登録されていない方は、18時以降担当まで確認ください。



万葉集同好会

3月定例会

日 時 3月20日(水) 13:30~

4月定例会

日 時 4月17日(水) 13:30~

会 場 友の会ルーム



季節の移ろい 晩秋から冬に・・・ 5首

会員小林光江作

箱根駅伝選手が駆け抜く空の下
風格誇る富士屋ホテル

外輪山のすそ野は錦に燃へたちて
波打ちざわめく芒の原野

小春日に芝生に寝転ぶカップル親子
ゆく秋惜しむ新宿御苑

て 吹きすさぶ谷津田の枯野を群れ飛び

着地定めしカワラヒワ鳥

飼台に飛来すつがひの四十雀

黒タイきりりとダンディーな装ひ

鳥の博物館 イベント情報 2013年 3月・4月

手賀沼定例探鳥会「てがたん」

鳥の博物館周辺を散策しながら鳥や昆虫、植物などを観察して楽しめます。毎月第2土曜日開催されています。参加してみませんか？

日 時 3月9日(土)10:00～12:00

テーマ「春をさがそう」

4月13日(土)10:00～12:00

テーマ「桜に集う鳥たち」

集 合 鳥博玄関前午前10時 正午解散

参加費 資料・保険代として1人 100円

(高校生以上)

持 ち 物 双眼鏡(お持ちの方)、筆記用具、貸し出しの双眼鏡有り

申 込 み 不要 雨天中止

テーマトーク

テーマトークは、山階鳥類研究所研究員による最新の調査研究のお話を聞くイベントです。

日 時 毎月第2土曜日 13:15～14:00

場 所 鳥の博物館2階多目的ホール

定 員 50人 申込不要

【第23回】

日 時 3月9日(土)13:15～14:00

テ ー マ 「最近の中国のトキ事情」

講 師 米田重玄さん

(山階鳥類研究所保全研究室研究員)

【第24回】

日 時 4月13日(土)13:15～14:00

テ ー マ 「ヤキトリの鳥類学」

講 師 平岡考さん

(山階鳥類研究所自然誌研究室専門員)

あびこ自然観察隊「春の谷津田観察会」

内 容 この時期、谷津田では冬鳥も見られる中、ウグイスのさえずり、キジの幌打ちなど春を感じることができます。春分の日、岡発戸・都部の谷津田を歩きながら、野鳥を中心に早春の生き物を観察します。谷津田でいち早く春を感じてみませんか。

日 時 3月20日(水・祝) 午前9:00～12:00

集合場所 JR 成田線 東我孫子駅南口

午前9:00 集合(雨天中止)

定 員 30人(小学4年生以下は保護者同伴)

参加費 資料・保険代として一人 100円

(小中学生は無料)

申し込み 電話で鳥の博物館へ 7185-2212

鳥の博物館の休館日

3月4日(月)、3月11日(月)、3月18日(月)、3月25日(月)、4月1日(月)、4月8日(月)、4月15日(月)、4月22日(月)、4月30日(火)

昨年12月1日(土)から開催されました鳥の博物館

行 事 報 告

第9回友の会展を終えて



友の会展が1月27日(日)に終了しました。友の会展にお越しいただいたご来場者、開催にご協力いただいた会員の皆様、どうもありがとうございました。

今年のテーマ展示「手賀沼周辺の探鳥地」はそれぞれの探鳥地を担当された方々がそれぞれに工夫を凝らしたパネルを作成されました。お楽しみいただけましたでしょうか。

昨年度初参加の水曜サロンは今年度万葉集同好会として参加することとなりました。みて歩こう会、デジカメ同好会、鳥凧同好会、鳥絵同好会の展示、会員の

作品の展示もおこなわれました。昨年企画しながら天候不順で実施できなかった鳥探しゲーム「冬鳥探し隊」はイベントとして無事開催、友の会展においてその結果を披露しました。

友の会展開催期間中の入館者は 2,438 人でした。この人数には 11 月に開催された友の会展イベントの参加者は含まれていません。友の会展開催期間中の入館者増加を目指し、次回もさまざまな工夫がされることを期待します。 安野記

第 35 回友の会講座および鳥にまつわる昔話

1 月 14 日(月・祝)

朝からの雨が雪に変わり、開催時刻には大雪になってしまった。家を出たが途中で引き返した方もおり、出席者が少なかったのは残念だった。

木村会長から、友の会講座の趣旨についてと、身近な鳥に目を向けると思いがけないことに気付き、新たな発展があるというお話があった。

我孫子の公園の鳥

講師: 塩田いづみさん(鳥の博物館学芸員)



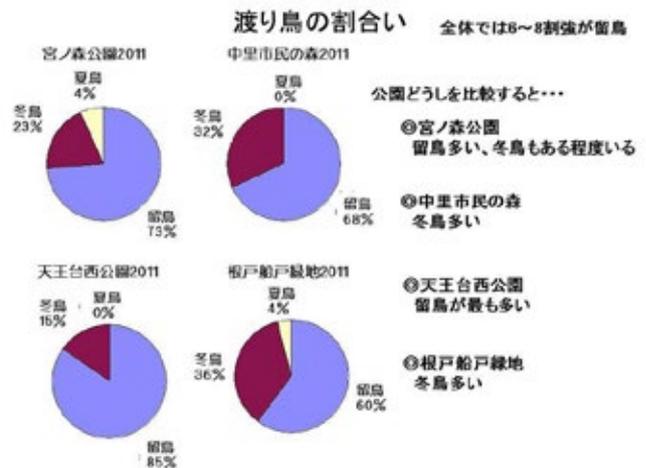
横長な我孫子市の多くの公園から選んだ特徴ある公園緑地4か所(根戸船戸緑地・天王台西公園・中里市民の森・宮の森公園)で、月1回鳥類センサス調査を行っている目的・調査地の概要・調査方法、そして4年間の調査結果をグラフ等を使って解説してくれた。

調査の目的は特徴の異なる公園緑地の鳥相の違いを知り、それぞれの公園緑地の特徴と鳥類の関係を見ることだそう。調査地については、航空写真による位置と周辺環境の説明があった。

調査結果として、公園別の総個体数・種類数・種類の季節変化・優占種・渡り鳥の割合、そして各公園の特徴が示された。狭い天王台西公園を除く3か所はほぼ同面積であるが、種類・個体数ともに多いのは宮の

森公園ということで、多様な環境を持つ同公園の優位性が示された。また、都市型公園である天王台西公園は種類の季節変化にも乏しいことが分かった。

興味あることは、共通の優占種としてヒヨドリが増加していることが示され、ふだんなんとなく感じていたことが実証された感がある。少なくなったとささやかれているスズメも同様である。天王台西公園を除く3公園では、ハシブトガラスがハシボソガラスを次第に上回るようになり、天王台西公園では逆にハシボソガラスが占有してしまったということが面白かった(営巣が確認されている)。



鳥類センサス調査の特徴は、なんとなく感じている鳥の動向の数値的な裏付けができることと、長期間続けることにより鳥の動向が見えてくることだそう。この他に鳥博が行っている長期鳥類センサス調査は、手賀沼水面・岡発戸の谷津田・水田があり、やってみたい方は相談してくださいとのコメントで講座が終了した。

なお講座の内容は、開催中の第65回企画展「身近な鳥を調べてみたら」に展示されています。

松田記

鳥にまつわる昔話

語り手 さよ・あららさん(友の会会員)

講演者のさよ・あららさんは市議員をされている頃から、友の会展に多くの作品をよせられている。絵手紙、石絵、今回の一閑張(飛来一閑考案とされる。木型などを使って和紙を張り重ね、型を抜いて表面に漆を塗ったもの。多く茶道具に用いられる)など、鳥絵と文章の組み合わせも素晴らしく、ファンも多い。絵画、造形に加え、昔話の語り手講習も修められていると聞き講演をお願いした。鳥にちなんだ「ひばり金貸し」

「つばめとすずめ」「ふくろうの染物屋」「水乞い鳥」、おまけに「トカゲの尻尾」「四本目の脚」を加えてのお話をいただいた。奇想天外の物語が面白く、囲炉裏を囲んでお婆さんの昔話を聞いているようだった。30分の長編を含め、まだまだ多くのレポーターをお持ちなので、機会があればまたお願いしたい。



担当 木村稔

出席者 松下勝子、稲澤君男、河島暁子、牧嶋英夫、染谷迪夫、小野史子、関口小夜子、木村稔、松田幸保（会員外）五十嵐照子、染谷実紀、関口翔斗、川島千賀子 13名

デジカメ同好会

12月の会

撮影会 雨天中止

室内会

実施日 12月22日(土)

映写 オジロビタキ、ヒシクイ、ウソ、タゲリ、キクイタダキ、エナガ等、季節の鳥の力作が発表された。また素晴らしい釧路のタンチョウやシドニーのモイロインコが発表され賞賛を浴びた。

出席者 18名 秦伸光、池田日出男、井上正、石塚喜久夫、北村章子、古賀嗣朗、熊倉国勝、丸嶋紀夫、百瀬喬、中野久夫、野口隆也、仲澤成二、渡邊成、山口恭博、安野昌彦、吉田隆行、松田幸保、水口武

担当 井上正

忘年会

実施日 12月22日(土)

内容 室内会のあと我孫子駅前の「はなの舞」へ移動しました。撮影機材や撮影エピソード、鳥の話題などで盛り上がり、最後は熊倉さんによる恒例の記念撮影。今年も楽しい会になりました。

出席者 18名 吉田隆行、熊倉国勝、中澤成二、野口隆也、伴野茂樹、池田日出男、石塚喜久夫、井上

正、水口武、渡辺成、松田幸保、金子雅幸、丸嶋紀夫、古賀嗣朗、小山雄司、森哲太郎、安野昌彦
担当 北村章子



1月の会

室内会

実施日 1月12日(土)

内容 筑波山などの山の鳥、浦安、茨城などの海の鳥、各地の沼にやってくる鳥、台湾の鳥、近隣の鳥など、さまざまな小鳥・水鳥・猛禽の映写となりました。また来年度の撮影地について話し合わせ、4月～12月まで決定しました。

参加者 16名 浅野利幸、樋口滋、仲澤成二、吉田隆行、松田幸保、渡邊成、木村稔、池田日出男、志村次男、北村章子、伴野茂樹、金子雅幸、石塚喜久夫、中野久夫、井上正、安野昌彦

撮影会(みて歩こう会と合同)

実施日 1月26日(土)

内容 この冬一番の寒さとなりましたが、よく晴れた一日でした。電車とバスも空いていて、みて歩こう会の方々とにぎやかに現地に到着しました。各自公園内のポイントを回ることにりましたが、着いて早々、カワセミ、ヤマシギ、タシギ、ジョウビタキ、アオジなどの出迎えを受け、みんな揃って撮影することができました。12時に集合した頃には冷たい風が吹いてきたので、昼食後の撮影は1時半までとし、解散となりました。

認められた鳥 カワセミ、ヤマシギ、タシギ、ジョウビタキ、コジュケイ、ウソ、アオジ、ガビチョウ、シロハラ、アカゲラ、シメ、ヤマガラ、シジュウカラ、エナガ、コゲラ、モズ、ヒヨドリ、ムクドリ、ツグミ

参加者 13名 井上正、小山雄司、小山和子、池田日出男、北村章子、水口武、丸嶋紀夫、古賀嗣朗、吉田隆行、熊倉国勝、仲澤成二、金子雅幸、石塚喜久夫

担当 北村章子、井上正



みて歩こう会

第147回 東我孫子から湖北まで歩いて忘年会

実施日 12月23日(日)

会場 「ポアロ」



2008年12月23日にみて歩こう会の第1回忘年会在開かれました。その場所は「ポアロ」。それから4年、ポアロでの忘年会は3回目です。木村会長をはじめ33名の方が集まり、浅妻さんの名調子で楽しい3時間を過ごしました。いつも趣向を凝らし、みんなを楽しませてくれるので感謝です。この席で、みて歩こう会の新しい代表が伴野茂樹さんに引き継がれました。新しい代表のもとで、「みて歩こう会」がさらに楽しいものになるようにみんなで盛り上げていきましょう！

参加者 青木典子、青山正子、浅妻佐喜恵、井上正、植田啓介、岡廣志、金成典知、金子幸子、金子智恵子、金子雅幸、川越久枝、木村稔、桑嶋光子、小玉信子、小玉文雄、小林光江、佐藤譲、佐藤亮子、須貝基康、関口小夜子、染谷迪夫、野口隆也、野口洋子、橋本清、弘実さと子、藤田春美、松田幸保、松本葉子、間藤恵子、山田哲生、脇谷房子、伴野茂樹、畠中暁美 以上33名 **担当** 染谷、浅妻、畠中

第148回 舞岡公園散策(デジカメ同好会と合同)

実施日 1月26日(土)



デジカメリーダーの案内で電車、バス共にスムーズに公園へ。下見の時ほど鳥の数は多く有りませんでした。北風も予報程の事もなく天候に恵まれた程良い一日でした。

参加者 伴野茂樹、山田哲生、脇谷房子、青木典子、金子幸子、間藤恵子、植田啓介、青田郁江、桑嶋光子、池田妙子、武藤誠、武藤藍子、畠中暁美、木村稔、小林光江、野口洋子、松下勝子 以上17名
担当 井上正、松下勝子



万葉集同好会

12月定例会

実施日 12月19日(水)

内容 東歌と防人の歌及び各自好みの歌 10首

参加者 8名 岡本信夫、津田勝子、関口小夜子、脇谷房子、野口洋子、市村偕子、朝妻佐喜恵、畠中暁美

1月定例会

実施日 1月16日(水)

内容 梅と椿の歌 10首

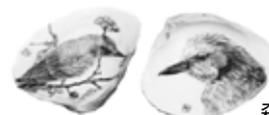
参加者 10名 木村稔、岡本信夫、関口小夜子、津田勝子、市村偕子、脇谷房子、池田妙子、小野史子、野口洋子、畠中暁美

ブレイクタイム



落語の前座噺で知られる「寿限無」に登場する長〜い子供の名前です。さあ、早口で名前を呼んでみましょう！

「じゅげむ じゅげむ ごこうのすりきれ かいじやり
すいぎよのすいぎょうまつ うんらいまつ ふうらいまつ
くうねるところにすむところ やぶらこうじのやぶ
こうじ ぱいぼぱいぼ ぱいぼのしゅーりんがんのぐ
ーりんだい ぐーりんだいのぼんぼこぴーの ぼん
ぼこなーの ちょうきゅうめいの ちょうすけさ
ん！」



森元夏木 作

手賀沼周辺を歩いてみよう

この地図を友の会展でご覧になった方も多いでしょ。会員の情報を集めて作られた地図です。手賀沼周辺には野鳥がいっぱい！ぜひお出かけください。



オオバンができるまで



- | | | |
|-------|---|-------|
| 編集会議 | 次号に載せる原稿の予定を確認、スケジュールを決めます。 | 37 日前 |
| 取材記事 | 編集企画の取材に行ったり写真を撮るなどして、記事を書きます。 | |
| 校正 | 皆さんからいただいた原稿の誤字脱字をチェックしたり、わかりにくい文章を修正します。 | |
| 割付 | 原稿をパソコンでレイアウトします。 | 16 日前 |
| 読み合わせ | レイアウトされた原稿に間違いがないか、原稿と付き合わせます。 | 12 日前 |
| 発注 | 業者にカラー印刷を発注します。 | 10 日前 |
| 印刷 | 市民活動ステーションでモノクロの印刷(手作業)をします。 | 7 日前 |
| 発送 | 封入して会員や関係各所に発送します。 | 0 日 |

これらの工程を経て、オオバンはみなさんのお手元へ届きます。
「この部分ならできます！」という方を募集しています。

一緒にオオバンを作りませんか？



～もう一度見たい「友の会展」のあの作品～
 「ひよちゃんのキロク ダイジェスト その1」(3回連載)
 鳥絵同好会 森元夏木さんの作品



つづく

シリーズ・この一冊
コミック「とりぱん 第1巻」 とりなん子 作

かつてはマンガ大好き少年(少女)だったという方も、大人になると手にする機会が減ってくるものかもしれませんね。今回は前号(中西悟堂の本)とは、ぐく〜っと趣をかえて、コミック本の紹介です。

タイトルの「とりぱん」とは、作者がパン屋さんでもらってくる(もしくは安価で買ってくる)食パンの耳のこと。第1巻ではこれを庭にやってくる鳥たちにふるまうようになったいきさつが、面白く描かれています。アオゲラのポンちゃん、ツグミのつくみんなど、常連さんの鳥を観察して性格付けをしたり、そのしぐさにツッコミをいれたり、プツとふきだしそうなユーモアあふれる野鳥観察記です。各章の最後にさりげなく綴られている詩も叙情的です。

日常の中にある小さな幸せを、しみじみ感じさせてくれる1冊です。(定価 本体 590 円 税別) < A・K >



シリーズ・会いに行こう 公園の鳥
～ 谷津干潟公園の巻～

<http://www.yatsuhigata.jp/>

春ともなれば、シギ・チドリ類の到来が待ち遠しいですね。今回ご紹介するのはそんな旅鳥が立ち寄ることで知られる、習志野市の谷津干潟公園です。

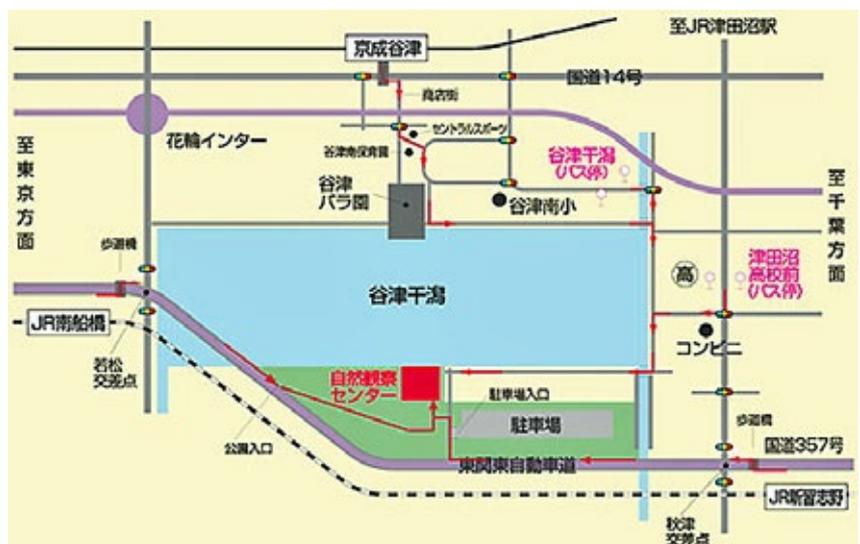
ここには本来旅鳥であるはずのハマシギやダイゼンが越冬し、1年を通して約60種の水鳥が見られます。まず潮見表をチェックしてからお出かけになることをオススメします。干潮になると顔を出す泥・砂地に、鳥たちが餌を探しにやってきます。(潮見表は谷津干潟自然観察センターのHPに掲載)

さて、今回はJR京葉線の南船橋駅から出発しました。駅を出ると頭上に湾岸道路が走っています。国道には大型トラックが連なって、こんな排気ガスまみれのところに野鳥が来るのかしらと思ってしまいます。ところが60年ほど前までここは遠浅の海でした。東京湾の埋め立てが進む中、市民・保護団体の活動によってこの一帯が守られました。今ではその面積のほとんどがラムサール条約の登録地となっています。

歩道橋を渡って歩くこと数分、遊歩道の入口に足を踏み入れると、目の前に干潟が広がっています。遊歩道は1周約3.5キロの道のりです。干潟を眺めながらしばらく行くと、やがて道は林の中へ。すぐに開けた場所が見えてきます。東屋とベンチがあって、思わずお弁当を広げたくくなりました。この先には観察センターが建っています。入場料は高校生以上360円、65歳以上180円。

さあ、観察センターに入ってみましょう。干潟に面した広い窓は全面ガラス張り、スコープが数台しつらえてあります。満潮時には窓の下に広がる泥地で鳥たちが休むそうです。またスタッフが常駐していて、その日の鳥の状況を教えてください。反対側の淡水池に面した窓もガラス張り。間近で水鳥を見るチャンスもありそうです。子供の遊び場や食堂、お土産売り場、トイレと自販機もあり、休憩所としても利用できます。

ここを出てさらに干潟を眺めながら、向こう岸へ回りました。こちら側には随所に観察窓や観察デッキがあります。金網の向こうのヨシ原の中を木道が続いている箇所もあり、土日・祝日に扉を開けて開放しています。ただし、5・6月



以外の月の AM9 時半～正午のみ。

また遊歩道から少し入ったところにバラ園があります。入場料は大人 180 円、65 歳以上 90 円、小・中学生 50 円。休園日は月曜日ですが、バラの見頃の 5・6 月は休園日なしで、AM9 時から PM6 時まで開園しています。このあたりは巨人軍発祥の地で、バラ園の入口近くに碑が建っています。トイレやベンチもあります。入ってバラを見るもよし、外で休憩するもよし。

帰りはここから歩いて京成谷津駅へ向かいました。途中の商店街でショッピングも楽しめます。春のピクニックを兼ねた探鳥地として、訪れてみてはいかがでしょうか。 <A・K>



事務局からのお知らせ

事務局からのお知らせ

4月の役員会

日 時 4月13日(土) 14:00～16:30

場 所 鳥の博物館友の会ルーム

- 議 題
1. 報告
 2. 5月以降の行事
 3. 会報「オオバン」No.72号の発行
 4. 総会の議案
 5. その他

平成 25 年度会費納入のお願いと会員証更新

3月1日より、平成 25 年度の会費納入と会員証の更新が始まります。鳥の博物館にご協力頂き、博物館 1 階の窓口で会費納入が可能ですのでご利用ください。また、会報に同封の郵便振替用紙での払い込みも可能です、会費を3月中にお振込み下さい。振込み確認が取れ次第、平成 25 年度の会員証(4月1日から有効)をお送りします。

なお、25 年度会員証が3月中に届かない場合、4月30日までは24 年度会員証で博物館に入館できます。また、25 年度からの新規会員の入会受付も3月1日から行います。お渡しする25 年度会員証は3月1日から使え、鳥博に無料で入館できますので、入会希望の方がおられたらお勧めください。

編集 後記

会員の皆様のご協力のおかげで、オオバンを発行することができています。さらに、企画、取材、校正、割り付け、読み合わせ、

印刷などの全てを皆さんと共有して、より良いオオバンにしていければいいな～と思っています。SB

重い荷物もみんなで分けあって持てば軽くなるものですね。デジカメ同好会のみなさん・編集作業や発送に関わって下さるみなさんに感謝します。みなさんからいただいた元気で、今後もオオバン誌作りをがんばります！ A・K

会員数

2月1日現在の会員数は272名(家族を入れると351名)です。

メールアドレスの変更連絡について

メールアドレスを変更された方は、登録しているメールアドレス(tori-tomo・Digi-Birds・mite_arukou・manyou_bird)と新・旧アドレスを併記して事務局に連絡ください。

連絡先 松田幸保 shobin@par.odn.ne.jp

投稿の募集 鳥や自然にかかわる短歌・俳句・エッセイ(1200字以内)など、皆様からの投稿を募集しています。

記者・編集員募集 楽しいオオバンを一緒に作りませんか？ 記者・編集員を募集しています。

投稿、編集員への応募はこちらへ

お手紙で 〒270-1145 我孫子市高野山 234-3
我孫子市鳥の博物館内 友の会編集担当
電話(FAX)で 04-7185-2212 (FAX 04-7185-0639)
メー ル で 北村章子 akkosan54@tbz.t-com.ne.jp



号号のこぼれ

人は誰しも絵画を理解しようとする。
それならばなぜ小鳥の歌を理解しようしないのだろうか。 パプロ・ピカソ

オオバン 71号 2013.3.1 発行

発行 我孫子市鳥の博物館友の会

発行人 木村 稔

編集人 北村章子 伴野茂樹 山田哲生 脇谷房子

事務局 松田幸保

〒270-1145 我孫子市高野山 234-3

我孫子市鳥の博物館内

TEL 04-7185-2212 FAX 04-7185-0639

会費 小中学生会員 1,000円 一般会員 2,000円

家族会員 3,000円 賛助会員 1口 10,000円

郵便振替 口座 00160-8-36727

我孫子市鳥の博物館友の会